

ぬくもり

2026年5月18日(月)

8年生学年主任責任編集発行

な か ま
仲間がいること

先週、ぬくもりを発行したときには読んでいなかった校外学習の振り返りを全員分、読ませていただきました。みんなにとって、良い「経験」となったようですね。活動中は常に前向きな声掛けが飛び交っており、一人がみんなのことを、みんなが一人のことを考えて、活動できていたようですね。グループで活動する中で生まれた安心感や信頼感から、勇気を出して、挑戦し、温かい声援を受ける人もたくさんいました。また、まわりを見て、挑戦を下支えする大切な役割に徹してくれる人もいました。どの活動においても、一人ひとりが考え、コミュニケーションをとり、取り組んでいる姿はとても頼もしく、そしてあったかく感じました。そんな中で、先生が特にうれしかったことは、みんなが「仲間」の存在に気づけたことです。当たり前かもしれませんが、どんな取り組みでも課題を解決するためには自分以外のまわりの仲間の協力が必要だったはずです。人間は、普段からまわりにある存在をつい、当たり前と感じて意識しません。でも、今回の校外学習では、普段からまわりにいる仲間がどれだけ自分の力になってくれて、どれだけ支え、応援してくれる存在であるか身をもって体験し、経験することができたのではないのでしょうか。



校外学習の振り返りの中に、人の意見や考えを聴くことの大切さについて書いてくれている人もいました。自分一人では限界があるけれども、仲間の意見や考えを聴くことによって、自分にとって新しい見方や考え方、価値観が生まれます。そういう意味でも、校外学習の振り返りをまとめたものが廊下に掲示されていますので、ぜひ読んでください。同じグループではなかった仲間の気づきからも、新しい自分の気づきも生まれるかもしれません。また、先週行われたいじめ・いのちを考える取り組みの宣言も今週中に掲示予定なので、掲示されたら仲間の宣言をぜひ見てください。7, 9年生の宣言や、グループで考えてまとめたものはもうすでに掲示されています。その中にも新しい自分と出会うヒントがたくさんあるはずです。

素直さ・縁(仲間)・考え続けること(思考)を大切にする ⇒ あったかい学年に!!